沖縄〝善意の津波〟本土

心臓手術の吟子ちゃん救え

「吟子ちゃん名前いい子」―沖縄で生まれたにせ、すっかく心臓手術が必要と診断されたなんて、日本の医療技術がもう少し進んでいたら、と悔やまれる。サンケイ新聞では、二日、吟子ちゃんの手術に「沖縄ちゃん基金」が五十万円を寄せることにしたが、続々と善意の募金がよせられているという。やっと吟子ちゃんの命の無事を確認できたところだが、一日も早く沖縄と本土のカベを感じた国の違った行政がとり払われるように、こうした悩みは解決されたい。吟子ちゃんを救う為奔走した、そうした力べを感じ、明日からって行こうという親がいものだった。

『明美ちゃん基金』から50万円

不安も吹っ飛ぶ〝でもまだ多くの人が〟

母親 映子さん

「吟子ちゃんよかったね」手術の成功、それに沖縄と本土を結ぶ暖かい応援。お母さん心にだかれ元気に故郷に帰れる日も近い＝兵庫県立尼崎病院で

那覇でも10円募金

現地新聞もキャンペーン

高校生も街頭募金

梅田地下街〝一粒のムギに〟

「沖縄のこどもたちに愛の手を」と大阪・梅田地下街で呼びかける梅原君ら高校生グループ＝2日午後7時、大阪・梅田地下街で